

2025年10月7日

東日本旅客鉄道株式会社

国際都市 TOKYO の未来を拓く、広域品川圏の共創まちづくりが本格始動！

～2026年3月28日 TAKANAWA GATEWAY CITY / OIMACHI TRACKS がグランドオープン～

- JR 東日本グループは、浜松町駅から大井町駅間の東京南エリアを「広域品川圏（Greater Shinagawa）」と位置づけ、グローバル都市間競争において、このエリア一体で国際都市東京の未来を拓き、東京の新たな魅力・価値向上（バリューアップ）を創出する共創型都市エリア戦略を展開します。
- 2026年3月28日（土）に、国際交流拠点「TAKANAWA GATEWAY CITY」がグランドオープン、都市生活共創拠点「OIMACHI TRACKS」がまちびらき、「広域品川圏」の共創まちづくりが本格始動します。
- 「広域品川圏」は、各駅のえきまち開発を点ではなく、エリアとして一体で捉え、2030年代半ばまでには、当社グループ保有ビルの床面積約150万㎡、営業収益約1,000億円超/年の事業展開を視野に構想しています。

1. 「広域品川圏（Greater Shinagawa）」の都市戦略

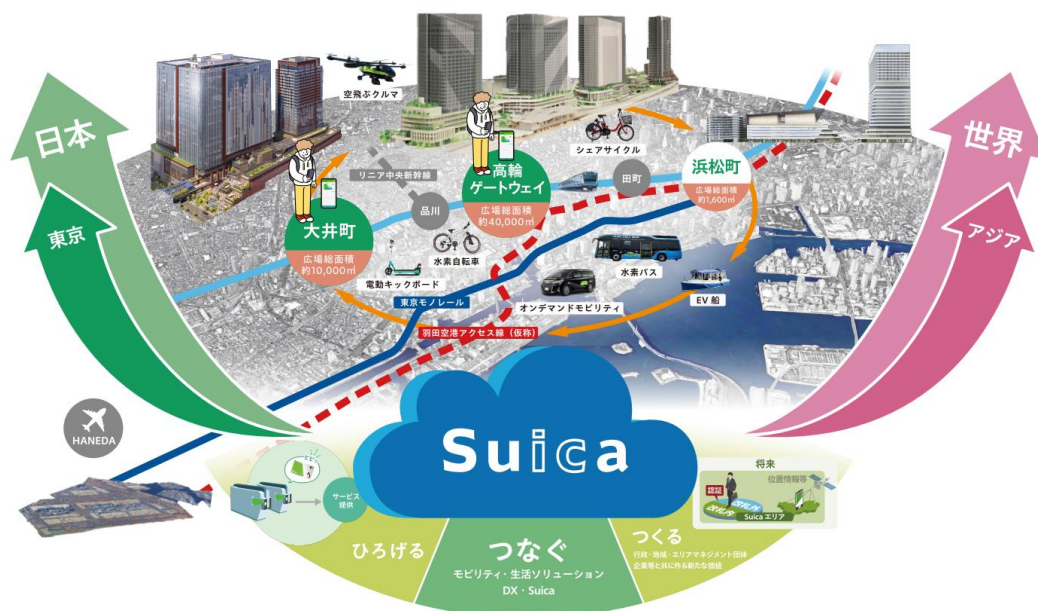
東京南エリアは、羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備、羽田アクセス線(仮称)・東山手ルートの開通等により、さらなる交通基盤の進化が計画され、国際都市東京のグローバルビジネスゲートウェイとしての役割が期待されています。

JR 東日本グループは、広域品川圏において、様々な関係者と共創し、「えきまち一体開発」を連鎖的に推進しており、このエリアが国際都市東京の未来を拓き、東京の新たな魅力・価値向上を創出する共創型都市エリア戦略を展開していきます。本まちづくりは、様々な関係の皆様からのご理解・ご支援のもとで進めています。

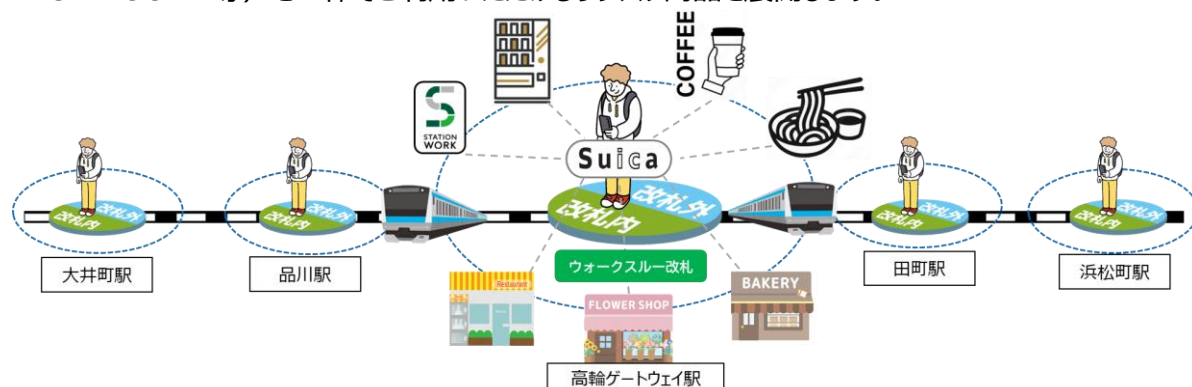
このエリアの都市戦略のベースは、各えきまちをつなぐモビリティ(鉄道、オンデマンド交通、水運、空飛ぶクルマ)に加えて、**生活のデバイスに進化する「Suica」を「えきまち」と顧客をつなぐプラットフォームとして整備すること**にあります。

現在の鉄道等の移動・決済機能に加えて、マイナンバーカード連携や生体認証等によりセキュリティーゲート適用範囲を拡大、移動データ等を活用した生活の利便性に繋がるリコメンド機能やチケットサービス等の拡充等、「**Suica ID 番号**」ひとつあれば、**シームレスな移動・生活ができる社会の実装**を目指し、LX（ライフスタイルトランスフォーメーション）による心豊かな暮らしを提供してまいります。

国際都市 TOKYO の未来を拓く、**広域品川圏**の共創まちづくりが本格始動！
～ TAKANAWA GATEWAY CITY/OIMACHI TRACKS がグランドオープン～



2026 年春から高輪ゲートウェイ駅、大井町駅にてウォークスルー改札の通路を設置しシームレスなご利用を体験いただけます。また、2027 年春には広域品川圏 5 駅にてウォークスルー改札の実証実験を実施します。さらに、2028 年度には、広域品川圏エリア内において、当社グループならではの鉄道と各種サービス（コーヒー、STATION BOOTH 等）を一体でご利用いただけるサブスク商品を展開します。



鉄道と各種サービスを一体でご利用いただけるサブスク商品

広域品川圏は、世界にも類を見ない連鎖型のえきまち一体エリアの形成を意図し、東京の新たな魅力・価値向上を創出する下記取り組みに注力してまいります。

（１） 国際都市 TOKYO の未来を拓く、先駆的エリアの形成

TAKANAWA GATEWAY CITY は、広域品川圏の中核を担う都市として、「人財・叡智」「医療」「水素・GX」の 3 つを軸に、「地球益」の実現に向けたイノベーションを展開し、100 年先の心豊かなくらしの創造を目指しています。この取り組みは、TAKANAWA GATEWAY CITY にとどまらず、広域品川圏全体を展開フィールドと捉え、地域一体となって未来社会の構築に貢献していくものです。国際都市・東京の未来を切り拓くこのエリアを、少子高齢化や環境問題等の「課題先進国」と言われる日本が直面する社会課題を踏まえ、世界における日本の再浮上と活躍のきっかけを生み出す原動力として醸成していきます。

（２） サステナブルな環境先導まちづくり

JR 東日本グループは「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」を掲げ、2050 年度までに CO₂排出量の実質ゼロを目指しています。広域品川圏では、省エネ・創エネ・エネルギーマネジメントを通じて、持続可能なまちづくりを推進し、コージェネレーションや高効率設備の導入、水素活用等の先進的な取り組みを展開してまいります。また、当社関連会社の株式会社 J バイオフードリサイクルや株式会社 J サーキュラーシステムと連携し、JR 東日本グループが主体的に運営する施設から排出される廃棄物の 100%資源化を目指すサーキュラーエコノミーにも取り組んでまいります。

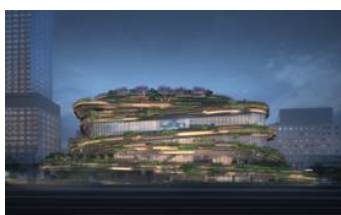
UPCYCLING
CIRCULAR

（３） 上質なナイトタイムエコノミーエリアの形成

東京のさらなる国際競争力向上に寄与するため、国内外のお客さまに、「安心で・上質で・豊かな」充実した夜の時間の過ごし方を提案してまいります。JR 東日本グループが各えきまちで創出するナイトライフ施設や圧倒的なアセット群を舞台に、このエリアの魅力的な景観や周辺の施設事業者等とも連携・共創し、例えば、歌舞伎をモチーフとした東京ならではの「和」「伝統とモダンの融合」や「アニメ／ポップカルチャー」等、夜間のユニーク体験ができるエリアブランドの構築を目指してまいります。



OIMACHI TRACKS
8 階から望む北側の夜景



MoN Takanawa 外観



WATERS takeshiba
ナイトクルーズ

（４） 広場を一体活用した賑わいの創出

広域品川圏において、**合計約 5 万㎡(東京ドーム 1 個分)を超える広場空間が創出**されます。JR 東日本グループは、この広場空間を一体活用したビッグイベントを展開します。伝統と革新が交差する東京の文化を、広域品川圏から発信する**都市型文化フェス“Tokyo culture week(仮称)”（日本固有の食文化とエンターテインメントとの融合）**や、広場空間ならびに水辺空間を光で彩る**“stella week（仮称）”**等、1 年を通じてワクワクと感動を創出し、このエリアへの流動創造・拡大を図ります。また、**鉄道をご利用のお客さまに対して、“Suica のタッチトリガーサービス”**とも連携し、**お得なイベント情報等を発信**します。



OIMACHI TRACKS

TRACKS PARK
約 4,600 ㎡
広場総面積約 10,000 ㎡



TAKANAWA GATEWAY CITY

Gateway Park
約 5,500 ㎡
広場総面積約 40,000 ㎡



WATERS takeshiba

イベントスペース
約 1,650 ㎡

（５） 回遊性を向上させる多様なモビリティ展開

えきまちの魅力・価値を増進するため、エリアの回遊性向上に寄与します。モビリティ事業者と連携し、駅から目的地までの「ラストワンマイル」を補完し、移動そのものが観光資源にもなる水上交通、環境負荷の少ないエネルギーを採用した水素バス（※1）の活用ならびに、空飛ぶクルマや、オンデマンドモビリティ、自動運転の実証実験等、モビリティの未来を拓くユニークで回遊性の高いシームレスな移動エリアの形成を目指します。



水上バス



EV 船



水素バス



空飛ぶクルマ

（※1） JR 竹芝水素シャトルバスは、2025 年 9 月 12 日に高輪ゲートウェイ駅に乗り入れを開始しました（1 日あたり平日 6 便、土日祝日 9 便）。

2. 「TAKANAWA GATEWAY CITY」グランドオープン

「100 年先の心豊かな暮らし」の実現に向け、「環境」(※2)「モビリティ」「ヘルスケア」を重点テーマにいい未来に資する取り組みを実証・実装する**実験場となる街**が、いよいよグランドオープン。これにより、先端的な知とのかけあわせにより「**100 年豊かに生きられる社会を目指す**」クリニックやフィットネス、ドローンや AI 等の最新技術を導入して CO₂実質ゼロに取り組むエネルギーセンター、都市 OS を活用したロボットによる商品配送サービス等が**備わるレジデンス**、そして南北 1km 超を結ぶ歩車分離の歩行者ネットワークを自動走行モビリティが繋ぎ、最新のテクノロジーを結集した昼間人口約 10 万人の「100 年先の心豊かな暮らし」を実現する「**国際交流拠点**」が本格稼働します。

(1) THE LINKPILLAR 2

泉岳寺駅に直結する大規模複合棟。クリニック・フィットネス等を備え「**誰もが 100 年心豊かに生きられる社会の実現**」を掲げ、「メディカル」と「ウェルネス」のキーワードで健康を一人ひとりに寄り添ってデザインする場となります。

- ① クリニック「TAKANAWA GATEWAY Clinics Medical & Life Design Hub」は、「東京大学 GATEWAY Campus」やビジネス創造施設「LiSH」と連携し、先端的な知から睡眠・食・運動機能向上等のヘルスケアサービスを創造し提供します。さらに創造したサービスは TAKANAWA GATEWAY CITY をハブに、「スマート健康ステーション」のネットワークを通じて日本各地に展開します。



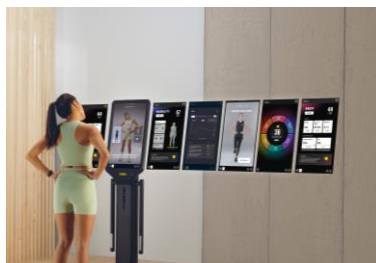
クリニックゾーン イメージ

- ② 国内最大級の蓄熱層を有するエネルギーセンター「Energy Management Center」を地下に備え、AI による熱源制御で高効率なエネルギーマネジメントを実現するほか、ロボティクスやドローン等を活用した設備点検・監視により省人化を実現します。街や地域の BCP 対策といった街の「安心」と CO₂実質ゼロに向けた取り組み等の「地球環境」への配慮を両立し、街に訪れるすべての人のイキイキとした活動を支えます。



ドローンを活用した設備点検

- ③ フィットネス「THE JEXER TAKANAWA (ジェクスー高輪)」は、AI を活用したトレーナーとの連携による一人ひとりに寄り添ったパーソナライズド・フィットネス体験、心身をとのえ美を育むサウナ & スパでのリカバリー体験等、ライフスタイルに応じた新しいウェルネス体験を提供します。さらに、東京大学の知を活用した先進的なトレーニングメニューの開発等も目指します。また、トライアスロン競技者向けプログラムを提供し、将来的にはこの街をフィールドにした都市型トライアスロン大会の開催が可能となります。



AI トレーナーを活用したフィットネスイメージ

(※2) [水素・バイオガス・多様な再生可能エネルギーを活用したヒト・街・地球に優しいまちづくり TAKANAWA GATEWAY CITY](#)

[TAKANAWA GATEWAY CITY における再生可能エネルギー由来の水素を用いた、水素サプライチェーンの構築について](#)

④ 低層部商業エリア「NEWoMan TAKANAWA MIMURE」

は、「100 年先も続く、都心のコミュニティビレッジ」をコンセプトに掲げ、「100 年先の心豊かな暮らし」を実現する実験場として、従来の商業施設の概念に囚われない、新しくも普遍的な体験価値を提供します。

8,000 m²の一体空間に 11 のラボラトリー(オープンファクトリー等を併設する飲食店舗)が広がり、身体と心を整える新しい食体験を届けます。日本の食文化と真摯に向き合う専門店では、産直食材の使用はもちろん、生産者対話をした食事ができる機会を定期的に設け「**生産者や社会との繋がり**」を創出します。

また、水産養殖と水耕栽培を組み合わせた「アクアポニックス」を用いた循環型ファームでの栽培・収穫体験や、ダイアログ・イン・ザ・ダーク(※3)の新施設での体験を通じ、多様性を包摂する社会づくりに資する「**学びが得られるコミュニティ**」を共創します。



NEWoMan TAKANAWA MIMURE
(THE LINKPILLAR 2 2・3 階)

(2) 街の文化創造を担うミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」

伝統を未来へつなぎ、新たな日本文化を創造・発信していくミュージアムとして、街の文化創造の役割を担う「MoN Takanawa」。この度、同館の「総合プロデューサー」として、放送作家・京都芸術大学副学長の**小山薫堂氏就任が決定**しました。ご自身の人生や企画の原点には常に「人を喜ばせるということ」があるという小山氏は、『100 年先へ文化をつなぐ』というコンセプトに共感され「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」において、文化・芸術、メディア・社会の分野における専門的観点から、全体のブランディング・コミュニケーション、企画監修等を担います。

総合プロデューサー 小山薫堂氏からのメッセージ

魅力的な街は、様々な人を惹きつけ、あらゆるものをつなぎ、新しい文化を生み出します。今から 150 年以上前、日本ではじめての鉄道が海の上を走ったというイノベーションの地に誕生した新しい街の、文化創造を目的にした拠点をプロデュースさせてもらえる・・・クリエイターとしてこれほどの幸せはありません。

「MoN Takanawa」が、「この指とまれ！」の究極の指となり、日本各地のあらゆる文化芸術をつないで、幸せという価値を創造する・・・そんな地図を描くつもりでこのプロジェクトに参加します！

略歴

放送作家・京都芸術大学副学長。1964 年熊本県生まれ。「料理の鉄人」「世界遺産」等の多数のテレビ番組を手がけ、映画「おくりびと」で日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞。「Stand Alone/森麻季」や「ふるさと/嵐」の作詞も手がける。「くまモン」の生みの親でもある。執筆活動の他、地域・企業のアドバイザー、下鴨茶寮主人、大阪・関西万博では、テーマ事業プロデューサーを務める。



MoN Takanawa 外観



4 階 Tatami

(※3) 視覚障がい者が暗闇の中でアテンドする、五感の豊かさを感じるソーシャルエンターテインメント

(3) TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE

総戸数 847 戸のプレミアムレジデンスが 2026 年 4 月よりいよいよ入居開始。豊かな生態系を再現し、生物多様性に配慮したビオトープ「**Link Biotope**」が併設され、エコロジカルな住空間の形成や、環境学習・賑わいづくりの場となることを目指します。低層部には学校法人東京インターナショナルスクールが 26 年 8 月に新校舎を開校します。

5 階エリアには 1 か月単位での滞在が可能な 12 戸の**住居「Link Life Lab」**を展開予定。様々な企業のソリューションやサービスと連携しながら、ともに未来の暮らしを生み出し続ける「共創型住居」がコンセプトです。住居内は Suica と連携したスマートホームサービスをベースに、**睡眠状態や腸内環境のチェック機能が搭載された住戸設備**のほか、入居者限定のウェルネス&ヘルスケアサービスも提供予定です。

街のアセットを活用・連携した特別プログラムを提供し、入居者がより健康になる住居を目指します。ここでの取り組みは居住者との共創によりアップデートし、将来的に住民全体の心豊かな暮らしに貢献します。



Link Biotope イメージ



Link Life Lab イメージ

(4) 東京大学 GATEWAY Campus

グランドオープンに先行して 10 月 21 日（火）には THE LINKPILLAR 1 SOUTH9 階に**日本初のプラネタリーヘルスをテーマに据え、学際的な研究室が集う「東京大学 GATEWAY Campus」**が開設します。さらにシンガポール国立大学(NUS)のほか、ビジネス創造施設 LiSH Studio 2 に拠点を構える「日本パストツール研究所（IPJ）」や「プラネタリーヘルス・イノベーションセンター（Phic）」(※4)等との連携を強化します。



ラボエリアイメージ

(5) 高輪築堤の保存・公開

まちづくりを進める中で出土した高輪築堤の保存と活用を通じて、日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地としての記憶を、次の 100 年に継承していくことにより、地域の歴史的価値向上や「国際交流拠点・品川」の実現に努めていきます。国指定史跡の第 7 橋梁部および公園部の現地保存・公開を 2027 年度に予定しています。当時の風景をそのままに実感できるようにするほか、先端技術を活用した展示等により、鉄道開業期のイノベーションを体感できるようにします。

なお、**グランドオープン時には 2027 年度の公開に先立ち、高輪築堤の歴史的価値を体験できる展示「（仮称）築堤ギャラリー」を THE LINKPILLAR 2・1 階にてオープン予定**です。



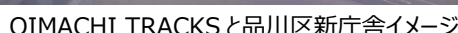
THE LINKPILLAR 2 から第 7 橋梁部を眺めるイメージ
(2027 年度公開時)



高輪築堤・地下回廊を見下ろしたイメージ
(2027 年度公開時)

(※4) パストツール研究所と東京大学との協定に基づいて「日本パストツール研究所(IPJ)」の下に設立された、ライフサイエンス/バイオサイエンスを中心とした研究支援・イノベーションコンサルティング・起業促進チーム

大正時代より東京・日本の成長とともにあった大井町。鉄道車両工場から始まり、地域と共に歩んできたこの場所に、2026年3月28日、都市生活の新たな共創拠点「OIMACHI TRACKS」が誕生します。ここでは、心豊かな暮らしを目指し、地域・企業・行政が連携して新しい価値を創出していきます。



OIMACHI TRACKS は、行政や地域、入居企業、このまちを訪れる方々等の共創パートナーとの連携を深めながら、テクノロジーや Suica データ等の活用により、たとえば「防災・安全情報の即時通知と避難支援」や「地域のお得な情報やまちのイベント情報のパーソナライズ配信」等の新しいサービスを実装し、このまちや地域を日々アップデートし、「くらす・はたらく・訪れる」人にとって、「安心・快適・便利」な都市生活を実感できる拠点となることを目指します。

品川区新庁舎と連携した「一体的なまちづくり」や、このまちを訪れる方々や地域にお住まいの方々の安心にもつながる帰宅困難者受け入れや広域避難場所の開放等の「地域防災力の向上」において品川区と共創し、さらなるエリア価値向上に貢献してまいります。

地域の団体・企業等と OIMACHI TRACKS が連携したイベント等を通じて、新たな人の流れを生み出し、地域とともにまちの魅力と価値を高めます。2025 年 6 月には「一般社団法人 大井町トラックスエリアマネジメント」を設立しました。

OIMACHI TRACKS のオフィスの入館ゲートや自動改札機に Suica をタッチすると、地域の商店でのお買い物がお得になるクーポンや地域限定のサービス等、オフィスワーカーや大井町駅をご利用になるお客さまに、最新の大井町駅周辺情報をリアルタイムで受け取ることができるサービスの実現に取り組みます。



(2) OIMACHI TRACKS の環境配慮のまちづくり

OIMACHI TRACKS では、2025 年 7 月に発表した東京ガス株式会社との共創により、商業施設の入居企業や賃貸レジデンスの入居者が、専用部においてカーボンオフセット都市ガスを選択できる仕組みを導入します。この仕組みを通じて、入居企業・入居者の皆さまに参画いただくことで、「ゼロカーボンのまちづくり」を共に推進し、新たな価値の創出を目指してまいります。また、A-1 地区の建物全体で CASBEE（建築環境総合性能評価システム） S ランクを取得しました。



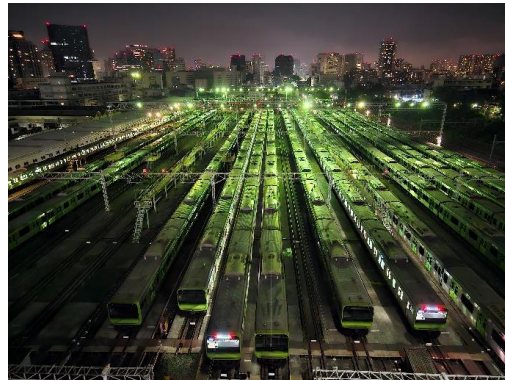
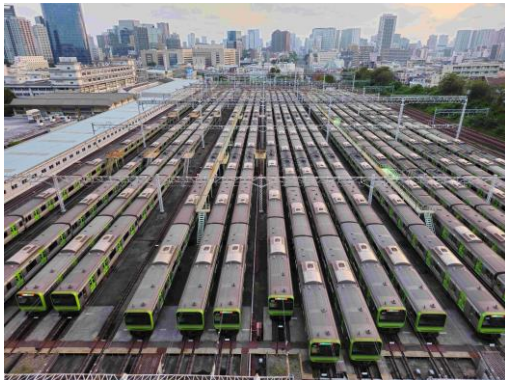
さらに、OIMACHI TRACKS から排出される廃棄物を資源として活用するサーキュラーエコノミーの実現にも取り組みます。生ゴミ（年間約 452 トン※5）は株式会社 J バイオフーズサイクルにて発電燃料としての利用や肥料としての活用を、廃棄プラスチック（年間約 297 トン※5）は株式会社 J サーキュラーシステムにて処理し、再原料化や工業原材料として再利用を図ります。



(3) OIMACHI TRACKS の主な施設とサービス

OIMACHI TRACKS のナイトタイムエコノミー

OIMACHI TRACKS では、運営会社や入居企業との連携により、質の高い夜の過ごし方（ナイトタイムエコノミー）の実現を目指します。施設北側には山手線の車両基地が広がり、鉄道と都心の街並みが織りなす、この場所ならではの美しい夜景を楽しめます。



施設内から見下ろす山手線車両基地（左：早朝、右：深夜）

① HOTEL METROPOLITAN OIMACHI TRACKS TOKYO

日本ホテルが運営する「HOTEL METROPOLITAN OIMACHI TRACKS TOKYO」では、

- **5 階**：ヨーロッパの食堂車をイメージした「The TAILOR YARD MAIN DINING」
- **26 階**：夜景と車両基地を一望できる「The TRAVELERS HOUSE ROOFTOP BAR」を展開し、旅情あふれる食体験を提供します。



5 階レストランイメージ



26 階ルーフトップバーイメージ

（※5）排出量はいずれも想定です。また、賃貸レジデンス等の住宅から排出される廃棄物は想定排出量に含まれておりません。

また、当ホテルは京浜東北線等の3路線が利用可能で、東京・品川・新宿・渋谷・羽田空港へのアクセスも良好。「森の中のキャビン」をイメージした温かみのある客室を備え、東京滞在の拠点として最適です。

宿泊予約は10月9日（木）午前10時より開始します。



客室イメージ

② OIMACHI TRACKS SHOPS & RESTAURANTS

アトレが手掛ける「OIMACHI TRACKS SHOPS & RESTAURANTS」は、歩行者デッキや広場に面した開放的なアウトモール型商業施設で、**1～5階に81店舗が出店予定**です。地元から出店する人気店（9店舗）やSC初出店の店舗等、多彩なラインナップで大井町に新しい賑わいを創出します。また、スパ・サウナ「サウナメッツァ大井町トラックス」や映画館「TOHOシネマズ 大井町」でのレイトショー（予定）等、夜間も心豊かに過ごせる空間を提供し、広域品川圏に展開する他の施設や地域の施設とも連携し、良質なナイトタイムエコノミーを実現します。



アウトモールイメージ

③ OIMACHI TRACKS RESIDENCE／オークウッド大井町トラックス東京

駅前の好立地に誕生するレジデンスは、賃貸レジデンスと、サービスレジデンス「オークウッド大井町トラックス東京」から構成されます。ショップ・レストラン・ホテル等が身近にあり、複合施設に住む利便性を満喫していただけます。法人登記が可能なSOHO（※6）はJR東日本グループとして初の展開です。共用施設として、3階エントランスには自然が感じられる住民専用テラス、14階には圧倒的な眺望を楽しめるラウンジも整備されます。

SOHOを含む賃貸レジデンスは、2026年4月より入居開始予定です。

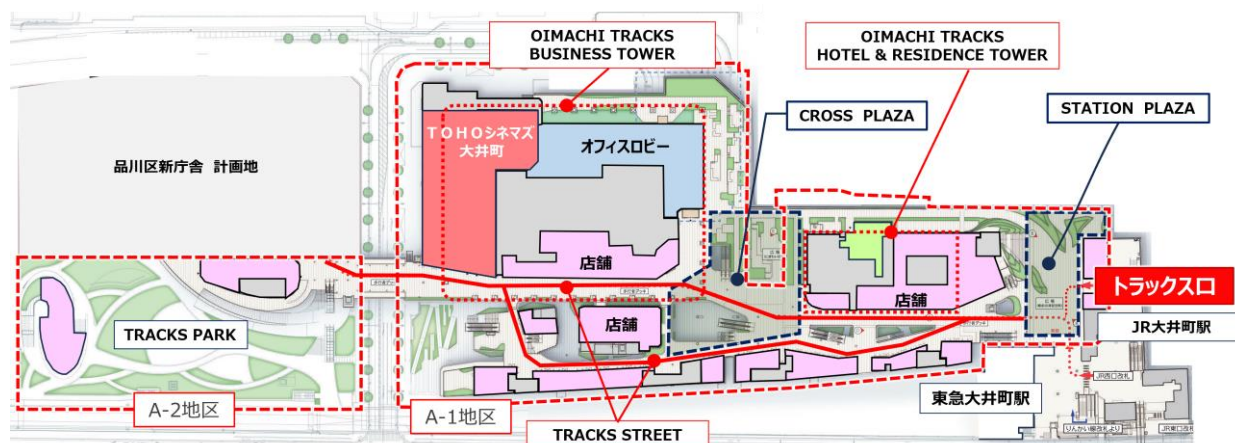


上：エントランスロビーイメージ

下：ラウンジイメージ

④ 新改札の名称

今回の開発に伴い実施する駅改良計画として、コンコースの拡充や新改札の設置、ホームの拡張工事を進めております。この度、この新改札の名称が「**トラックスロ**」に決定しました。



OIMACHI TRACKS 施設構成図（3階デッキ平面図 ※一部1階を表現）

（※6） Small Office Home Office の略称

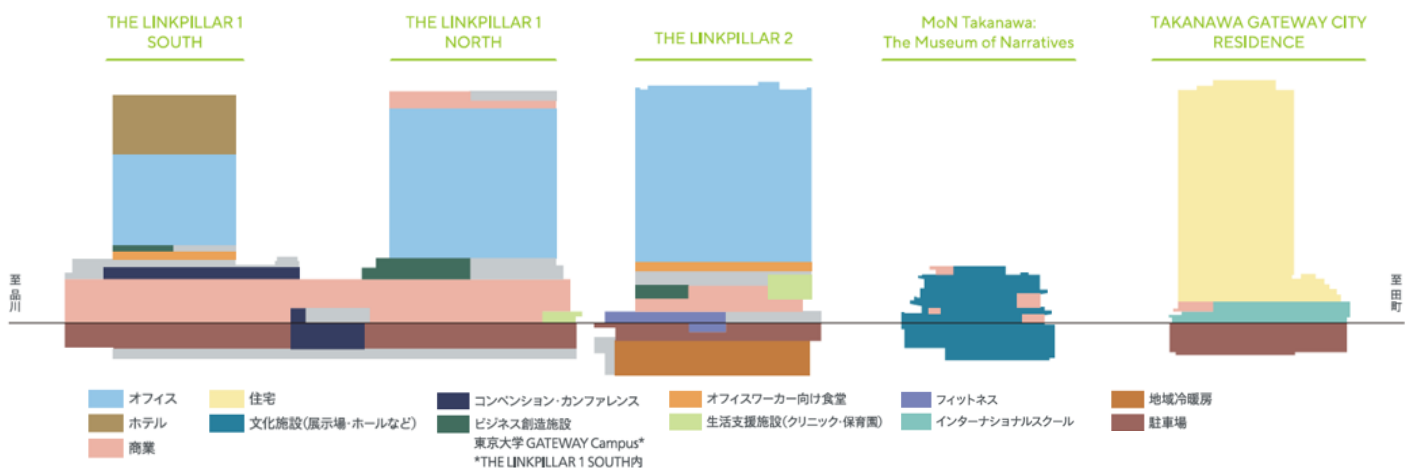
※リリース本文及び別紙掲載の画像は検討中のイメージであり実際とは異なる部分がございます。

【参考 1】

「広域品川圏」における当社グループ保有のビル床面積約 150 万㎡、営業収益 1,000 億円超/年



【参考 2】TAKANAWA GATEWAY CITY 建物用途概要



株式会社伊藤園

緑茶の飲用による気分変化や香味の印象に関する調査（2025年7月）

ニューマン高輪「茶々水 SASUI 伊藤園」（9月12日開業）での店頭アプリに反映

ニューマン高輪に開業した新コンセプト店舗「茶々水 SASUI 伊藤園」で提供するオリジナルブレンドティーおよびシングルオリジンティー（計18種類）について、オープンに先立ちLiSHにて7月に4日間の飲み比べイベントを実施。茶種ごとに香味の印象だけでなく、どのような気分の時に合うか等のデータを取得し、お茶診断や対話によってお一人おひとりの嗜好やライフスタイルに寄り添う「カスタマイズブレンドティー」に活用できる知見を得ました。

実施概要：2025年7月14～17日@LiSH 「茶々水 SASUI 伊藤園」オリジナルブレンドティーおよびシングルオリジンティー合計18種類を評価

検証項目：様々な緑茶やブレンドティーに合う飲用シーンや気分、香味の印象を調査。本調査で得られた知見は、別途実施した社内での試飲調査や13,000名対象のインターネット調査結果とあわせて分析し、同店舗の店頭用お茶診断アプリに反映しました。

今後の展開：お茶の味や香りがメンタルヘルスやウェルネスに及ぼす影響の見える化に引き続き取り組みます。



画像提供：株式会社伊藤園

リジェネソーム株式会社

低酸素環境のウェルネス効果を実証する臨床試験（2025年10月～実施中）

低酸素状態が健康に及ぼす影響を実証

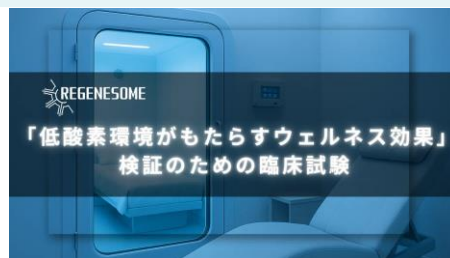
糖尿病改善を目的に設計された空間である低酸素個室ポッドに滞在することで、血糖値や血圧にどのような影響があるかを検証します。

実施概要：2025年10月～@LiSH

検証項目：低酸素状態が血圧・血糖値の改善に繋がるかを検証

今後の展開：将来的な予防医療やウェルネスの社会実装を目指します

参考リンク：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000086.000140650.html>



画像提供：リジェネソーム株式会社

TCIT

スマート監視ソリューションの効果検証

TCIT（台湾カラーアンドイメージングテクノロジー）は画像処理、色彩、監視分析において30年以上の専門知識を持つ企業です。最先端の顔、性別、年齢認識製品および開発キットを、完全で質の高い技術およびサポート経験とともに提供しています。

本実証実験では、「リアルタイム性」「高効率化」「容易な導入」をコンセプトに設計したスマート監視ソリューションサービス「TCIT AI BOX」を活用することで、既存のカメラをそのまま活用しながら監視システムを高度化させ、人物、車両、行動等の検索や、複数台のカメラ間をまたいでの追跡機能、柔軟なアラート設定を可能にします。スマート監視ソリューションサービスの活用により、どの程度管理効率の向上、人件費の削減、導入コストの低減に繋がるかを検証します。

実施概要：2025年10月～@LiSH内および高輪ゲートウェイ駅周辺

検証項目：監視や管理に係る時間がどの程度削減されるか



画像提供：TCIT